

自動車関連産業特別支援事業での 地域産業振興への取り組み

宮城県産業技術総合センター
自動車産業支援部

目次

- 1 事業方針と推進体制
- 2 産技センターでの事業の位置づけ
- 3 産技センターでの取り組み
 - 3-1 技術者の育成
 - 3-2 開発の方向性検証
 - 3-3 研究開発
 - 3-4 提案

1 事業方針と推進体制

本県の自動車関連産業を取り巻く環境の変化に対応し、地域企業の自動車関連産業への新規参入・取引拡大により、本県における自動車関連産業のいっそうの振興を図るため、総合的な支援を行う。

<自動車産業振興室>

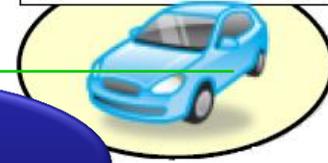
- ・自動車産業振興 施策とりまとめ
- ・みやぎ自動車産業振興プラン 管理
- ・生産改善研修、カーインテリ研修

<ITIM>

- ◇技術支援による参入支援
 - ・自動車技術研修
 - ・産学官連携 共同開発

<みやぎ産業振興機構>

- ・取引支援
- ・企業間マッチング



2 産技センターでの事業の位置づけ

自動車関連産業＝

重点注力産業分野

宮城県の
主要産業に

【背景・現状】

1. 自動車関連企業の進出・集積しつつある
2. 各機関で自動車産業を根付かせる取組みを実施。しかし、
3. 自動車産業に関する知識、提案力不足から取引に発展した企業は少数

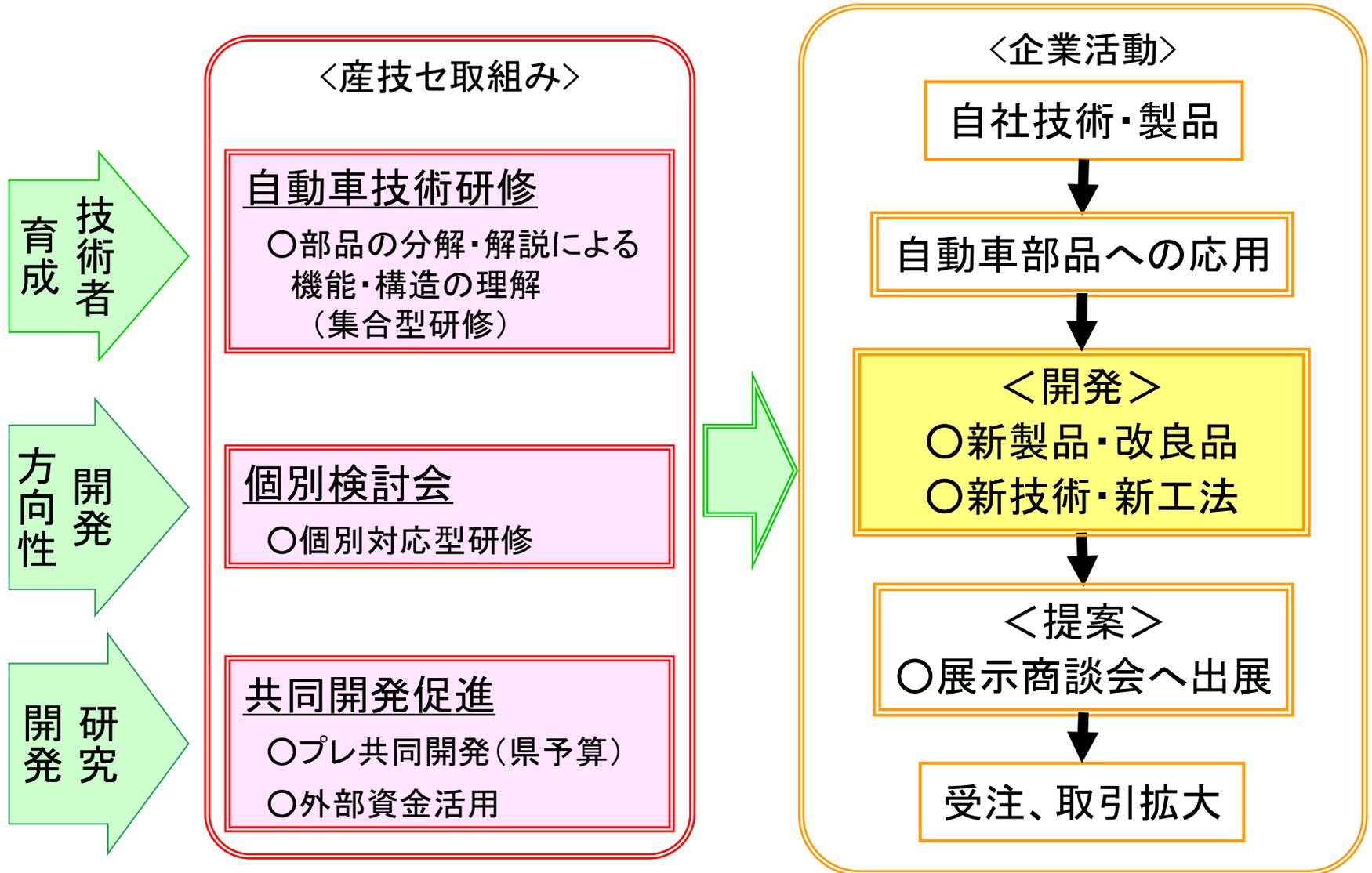
【目指す姿】

地元企業の自動車産業における受注増

【センターの取組み】

1. 自動車を理解し、川下企業に技術提案できる企業技術者の育成支援
2. 企業が持つアイデアの実証や開発の方向性検証
3. 車の軽量化、電動・インテリジェント化などをキーワードに
企業の製品開発を促進する研究開発の実施

3 産技センターでの取り組み



3-1 技術者の育成

○ 自動車技術研修(1)

新旧**部品**の**機能・構造**について、
分解・確認しながら詳細解説。

＜車両での部品確認＞

＜部品構造の新旧比較＞



3-1 技術者の育成

○ 自動車技術研修(2)

部品動作・駆動信号・走行データについて、
車両駆動状態で確認。

＜車両での部品動作確認＞



＜車両の走行データ確認＞



3-2 開発の方向性検証

○ 開発ターゲットの絞り込み

既存部品の仕様調査等も行いながら、
開発ターゲットを絞り込む。

○ 自社開発へ

○ 外部資金活用開発へ

< 個別検討会 >



< 既存部品調査 >



3-3 研究開発

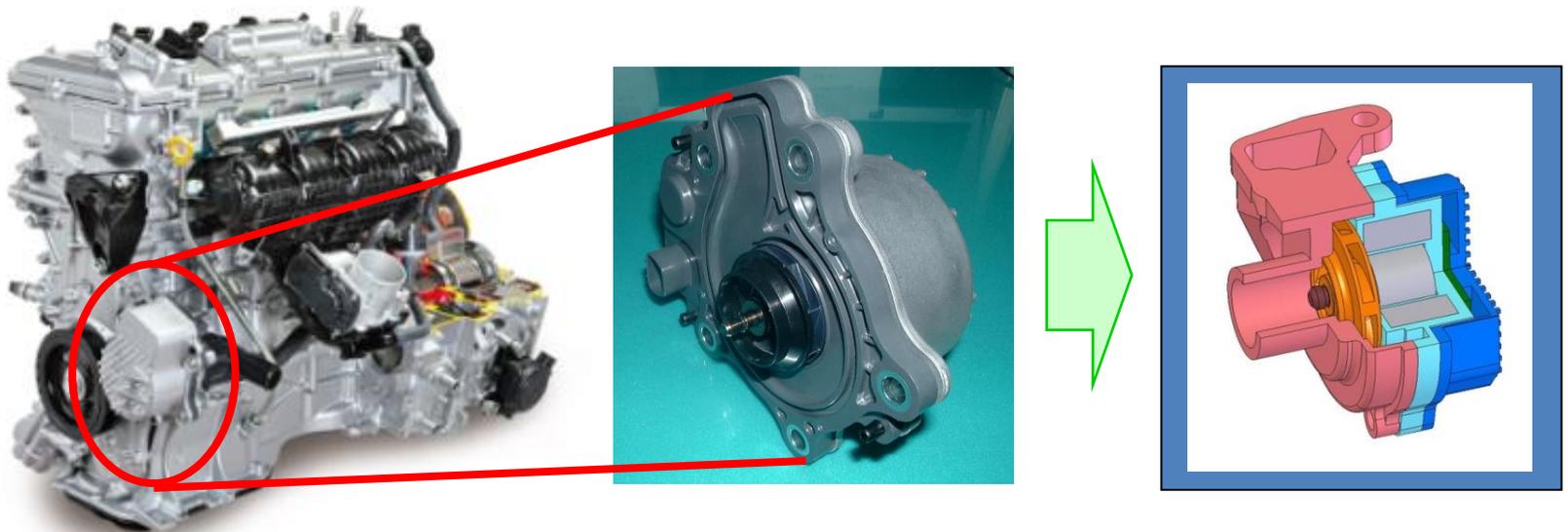
○ 共同開発

＜外部資金を活用しての共同開発例＞

プラスチック製 次世代電動ウォーターポンプユニットの開発

＜開発概要＞

金属部品のプラスチック化による、部品ユニットの軽量化



＜出展＞
トヨタ自動車(株) 殿 HPより

3-3 研究開発

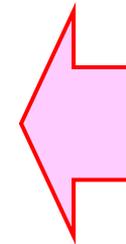
○ プレ共同研究事業の活用による開発促進

<ニーズ>

本格開発開始に向けての事前データがほしい



プレ共同研究の位置づけで、
産技センターと企業とで共同開発



新技術・新工法
研究開発促進事業
【県予算】を活用



外部資金も活用しての本格開発へ

3-4 提案

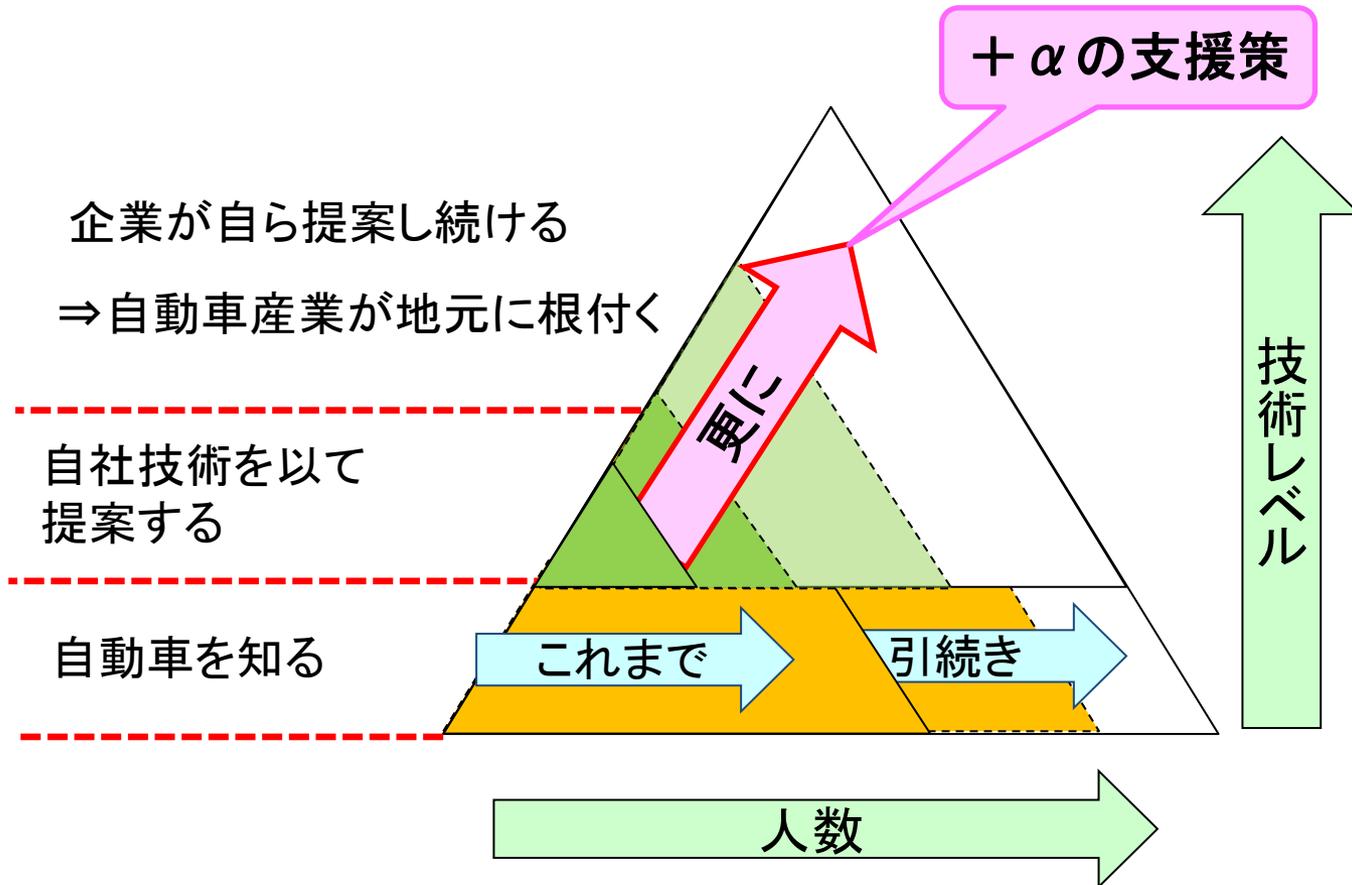
○ とうほく・北海道 新技術新工法 展示商談会



川下企業との共同開発へ展開
の可能性も見据えて

3-4 提案

○ 提案力強化へ向けて





宮城県産業技術総合センター

INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE. MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT



〒981-3206

宮城県仙台市泉区明通 2 丁目 2 番地

TEL 022-377-8700 FAX 022-377-8712

Web www.mit.pref.miyagi.jp

 ・仙台駅より車で 40 分 / 東北自動車道 泉 I.C. より 15 分

 ・地下鉄泉中央駅より路線バスで約 25 分

3 番乗り場 ▶ 「宮城大学前経由 泉パークタウン車庫」行き
「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車徒歩 3 分
・仙台駅より路線バスで約 40 分

バスプール 2 番乗り場 ▶ 「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」行き
「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車徒歩 3 分